

情報解禁日 2010年12月1日 0:00

地域の文化・自然遺産を未来へと守り伝える“未来遺産運動”

第2回「プロジェクト未来遺産」10プロジェクト登録決定

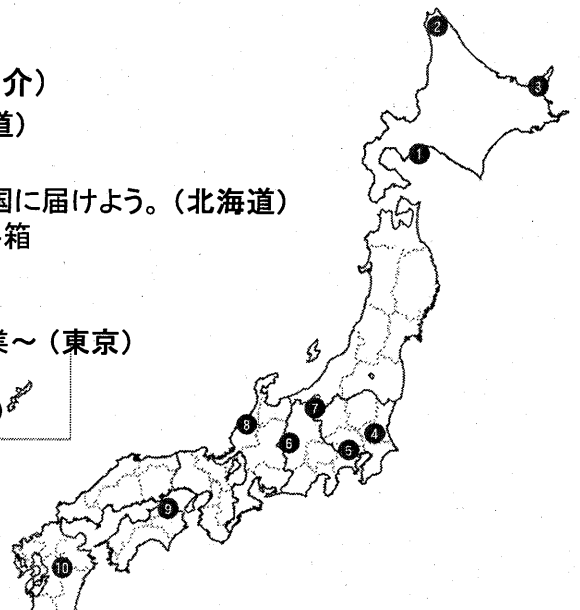
～東儀秀樹さんが、スペシャルアドバイザーに～

社団法人日本ユネスコ協会連盟は、2010年12月1日(水)、地域の文化や自然遺産を未来へと伝える「未来遺産運動」の中の活動である、第2回「プロジェクト未来遺産」として、下記の10プロジェクトを登録することを決定いたしました。本年度は、全国の25都道府県 39プロジェクトから、「危機に直面している遺産を守る」「生物多様性を活動に取り入れている」という2つの視点を優先的に考慮し、下記の10のプロジェクトを選定いたしました。

また、本年から日本ユネスコ協会連盟のスペシャルアドバイザーとして雅楽師の東儀秀樹さんを起用いたします。日本の伝統的な楽器と現代楽器のコラボレーションなど、斬新な取組を行う東儀さんとの連携で、未来遺産運動全体を盛り上げてまいります。どうぞ御期待ください。

■ 第2回「プロジェクト未来遺産」(右図は、登録地域のご紹介)

- ①野生サケのふるさとウヨロ川保全調査・普及プロジェクト (北海道)
- ②★未来人(みらいびと)への贈り物★ 宗谷防人物語 (北海道)
- ③知床のヒグマなど、人間と野生動物とが共生していく大切さを全国に届けよう。(北海道)
- ④水と林と田んぼのハーモニー 里山がくれた生き物と歴史の玉手箱
宍塚の自然と文化を次世代に (茨城)
- ⑤「谷中のたから」体験・発見・交流プロジェクト
江戸～東京のまちと自然、建物、生活文化の保全活用・体験事業～ (東京)
- ⑥木曾丸ごと夢作り活動 (長野)
- ⑦生態系豊かな森の再生と豊かな森が持つ可能性の追求 (長野)
- ⑧赤瓦と煙出しの里 加賀ひがしたにの未来プロジェクト (石川)
- ⑨みんなでかぶこう!! プロジェクト～農村歌舞伎祇園座 (香川)
- ⑩阿蘇千年の草原を未来へ引き継ごう (熊本)



※各活動の紹介は、次頁以降に記載しております。

※また、選考理由や過去の登録情報など、詳細は「未来遺産運動」Webサイトをご覧下さい。 <http://www.unesco.jp/mirai/>

※各活動の写真や、登録コメント等は、別途ご提供いたします。

■ 日本ユネスコ協会連盟“スペシャルアドバイザー”に 雅楽師の東儀秀樹さんを起用

本年度から、日本ユネスコ協会連盟のスペシャルアドバイザーに雅楽師の東儀秀樹さんを起用し、「未来遺産運動」を一層盛り上げてまいります。

東儀さんは、伝統的な雅楽器と現代楽器のコラボレーションを行うなど、国内外での斬新な取組にご活躍されています。伝統と革新をコンセプトに活躍される東儀さんの、過去と未来につなげる未来遺産運動へのご協力にご期待ください。

■ 新しく一般投票スタート! Webサイトから誰でも、好きなプロジェクトに投票できます。

登録された10のプロジェクトに、誰でも好きなプロジェクトに投票できるしくみができました。

Webサイトにアクセス → 10プロジェクトを知る →好きなプロジェクトを選ぶ→「投票ボタン」をクリックして投票。

投票期間は2010年12月1日から2011年2月28日まで。投票結果は、2011年3月21日(春分の日)、東京国立博物館(平成館)で行われる未来遺産運動記念式典で発表。投票結果の割合に応じた応援金が、各プロジェクトに贈呈されます。

【本件に関するお問い合わせ先】

「未来遺産運動」事務局 担当: 尼子, 星埜(ほしの)

TEL: 03-5424-1121 FAX: 03-5424-1126

MAIL: amako@unesco.or.jp, hoshino@unesco.or.jp

登録10プロジェクト紹介

	(上)団体名/(下)プロジェクト名	活動概要
①	<p>NPO法人ウヨロ環境トラスト</p> <p>野生サケのふるさと ウヨロ川保全調査・普及プロ ジェクト</p>	<p>ホロホロ山を水源とするウヨロ川は、サケの自然産卵を間近に見ることができる道内屈指の川です。川の周りには、湧水地、雑木林、カラマツ林等が広がり、その中を清らかな小川が流れ、北海道の里地・里山と呼ぶのにふさわしい自然となっています。このウヨロ川の自然を残していくために、ナショナルトラスト活動や森づくり活動のほか、サケの遡上実態や河畔林の調査、市民や子ども向けの「サケ遡上観察会」「サケ遡上ツアー」などを通して、野生サケの重要性を伝えていきます。</p>
②	<p>稚内市歴史・まち研究会</p> <p>★未来人(みらいびと)への 贈り物★ 宗谷防人物語</p>	<p>稚内市旧海軍大湊通信隊稚内分遣隊幕別送信所分庁舎跡地(敷地面積約6万4千㎡)は、地元では負の遺産として長く放置されてきました。このプロジェクトでは、周辺に桜を植樹し、すでに廃屋状態だった3棟の煉瓦建築物のうち、1棟はボランティア活動で、屋根と窓の修復を終え、人びとに「稚内赤れんが通信所」と愛着をもって呼ばれるまでになりました。また稚内は、最北端の国境に位置することから、明治、大正、昭和を通して国境警備のために活躍した人びと(防人)や先住民(宗谷アイヌ)とのものがたり(宗谷防人物語)が残されています。このものがたりの紙芝居やラジオドラマを制作することで、子どもたちに平和の大切さを伝えていきます。</p>
③	<p>財団法人 知床財団</p> <p>知床のヒグマなど、人間と野生 動物とが共生していく大切さを 全国に届けよう</p>	<p>斜里町及び羅臼町にまたがる世界自然遺産知床。知床財団は、知床の失われた自然復元、科学的調査研究に基づく野生生物の保護管理とともに、普及啓発や人材育成などの活動を行っています。知床の価値を守り、そして私たち人間が野生動物とうまく付き合っていくためには、自然と正面から向き合うことと同時に人間に対する啓発も重要です。ヒグマの学習教材の作成と普及活動をはじめ、未来を担う子どもたちに人間と野生動物との共生の大切さを伝えます。</p>
④	<p>特定非営利活動法人 宍塚の自然と歴史の会</p> <p>水と林と田んぼのハーモニー 里山がくれた生き物と歴史の 玉手箱 宍塚の自然と文化を次世代に</p>	<p>土浦市宍塚周辺に残された関東最大級の里山を守っていくために、耕作放棄された水田を、水辺の生物多様性保全の場とするためのビオトープ管理作業や、ブルーギルなどの侵略的外来種の捕獲駆除など、生物多様性保全のための“ため池再生事業”を行います。また、里山での人びとの暮らしの文化を守るために、里山の暮らしや伝承文化理解のための聞き書き調査や地元の農家と協働した啓発活動として、一般市民を対象とした観察会、子どもたちを対象とした「里山子ども探偵団」も行うなど、この地域を恒久的に保存していきます。</p>
⑤	<p>特定非営利活動法人 たいとう歴史都市研究会</p> <p>「谷中のたから」 体験・発見・交流プロジェクト 江戸～東京のまちと自然、建 物、生活文化の保全活用・体 験事業～</p>	<p>東京都台東区谷中界隈は、江戸時代は上野の寛永寺に続いて多くの寺が集まり、寺門前には町家や長屋が並ぶ寺町、職人の町となりました。明治に入ると隣接の上野公園が博物館や美術館、美術・音楽学校が集まる芸術文化の拠点となり、江戸東京の自然、建物、人の暮らしやコミュニティ、芸術など有形無形の文化が一体になって今に引き継がれています。こうした生活文化を「谷中のたから」として保全活用していくために、夏休みに地域の小学生らが伝統的住まいで生活文化を体験する寺子屋プロジェクトや、明治の屋敷「市田邸」の文化芸術企画による公開、彫刻家の旧宅(旧平櫛田中邸)の修繕作業と文化芸術企画の実施、及び上野谷中の紹介ガイド「田中大使」の育成、上野のお山探訪と「谷中いいとこ探し」の調査やマップ作り等を通して、ある潤いと安心ある都市生活文化を次世代に継承していきます。</p>

■登録10プロジェクト紹介

	(上)団体名/(下)プロジェクト名	活動概要
⑥	NPO法人木曾ユネスコ協会 木曾丸ごと夢作り活動	市町村合併や高齢化、林業の衰退によって、木曾の街道文化が忘れ去られ、破壊が進んでいます。木曾川沿いに結ばれた木曾路11宿の未来に向けた保全のために、木曾全域で連帯していきます。かつて中山道を旅する人たちのために設置された一里塚の調査や説明板の設置をはじめ、中山道の自然景観や樹齢300年の森林の保護活動、御嶽神社の太々神楽や御嶽信仰等の無形遺産の保護等、木曾地域全体で、総合的に木曾の文化・自然を保全していきます。
⑦	財団法人 C.W.ニコル・アフアの 森財団 生態系豊かな森の再生と 豊かな森が持つ可能性の 追求	長野県北端、上水内郡信濃町にある飯綱山麓に位置する「アフアの森」は、30年以上放置されてきた荒れた状態の山林を、C.W.ニコル氏が買い取り、生物多様性豊かな本来の日本の森に再生することをめざして森づくりをはじめました。森の面積を拡大するトラスト活動や伝統的な里山管理手法にもとづく作業、それと平行して生物調査を行い生態系の回復のために生物多様度を図る試みを実施しています。また、豊かな森は人の心も豊かにすることを示すために、社員の方々の心身の健康についても加味する持続可能な事業活動を意図した企業人向け研修や、アフアの森の出来事を映像配信などの普及活動も行っています。
⑧	山中温泉 ひがしたに地区保存会 赤瓦と煙出しの里 加賀ひがしたにの 未来プロジェクト	石川県加賀市南東部にある、山村文化や山村景観を残す荒谷町、今立町、大土町、杉水町の4集落からなる「ひがしたに地区」は、伝統的建造物群保存地区をめざして、保存と活性化に向けた活動に取り組んでいます。地域づくりの構想である「ひがしたに未来計画vol.01」をもとに、山野草カフェ&あいおす市(野菜市)の充実や保存会の活動を応援する「ひがしたに応援団」との協働イベントを実施します。また、保存会の会報誌「ひがしたに通信」の発行に加え、伝統的な行事の復興や、空き家を活用した民俗資料館の整備等を通じて、貴重な文化遺産と豊富な自然環境の双方を併せ持つ、ひがしたに地区を未来に伝えていきます。
⑨	香川町農村歌舞伎保存会 みんなでかぶこう！！プロジェ クト ～農村歌舞伎祇園座～	香川県高松市香川町の東谷地区において、180年以上伝承されてきた農村歌舞伎芸能「農村歌舞伎祇園座」を保存し、次世代へ継承していきます。そのために、農村歌舞伎芸能の先達による技能向上のための講習会の実施や後継者養成の一環として部活動や授業の中で歌舞伎に触れる機会を提供し、誰でも気軽に参加できる歌舞伎をめざし、各自治体等の要請に応じての歌舞伎公演も行います。また、古くから東谷地区に伝わる歌舞伎衣装及び道具類の散逸を防ぎ、適切に使用や管理保存を行っていきます。
⑩	財団法人阿蘇グリーンストック 阿蘇千年の草原を未来へ 引き継ごう	千年の歴史があるといわれる阿蘇の草原。しかもその規模は23,000haにも及び、草原景観としては、全国一の規模となっています。このすばらしい景観は牛馬の放牧・採草・野焼きといった地元の人びとの営みと自然との調和によって保たれてきました。この阿蘇の緑の大地(草原・森林・農地)を、広く国民共有の生命資産(グリーンストック)と位置付け、農村・都市・企業・行政四者の連携により、後世へ伝えることをめざし活動しています。その活動の一環として、「野焼き支援ボランティア活動」として初心者研修会の実施や子どもたちへの草原体験学習を実施します。

■未来遺産委員会委員長 総評 / スペシャルアドバイザー コメント

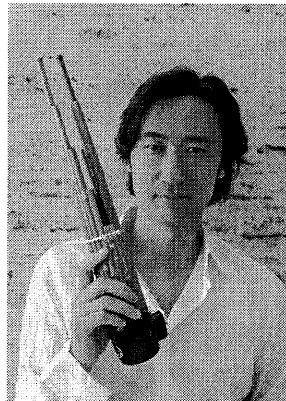
未来遺産委員会委員長
西村幸夫(東京大学先端科学
技術研究センター教授)



総評

昨年より始まった「プロジェクト未来遺産」ですが、今回寄せられた39のプロジェクトは粒ぞろいでレベルが高く、未来遺産運動への関心の高まりと応募された皆さまの意欲を感じることができました。今回登録されたプロジェクトは、危機に瀕する緊急性が高い遺産を何とか守ろうと努力されているプロジェクトや、活動の歴史があり他の市民活動のモデルとなるべきプロジェクトなど多種多様です。第一回の登録と併せて、運動が全国に広まっていることを実感でき大変うれしく思います。

社団法人日本ユネスコ協会連盟
スペシャルアドバイザー
東儀 秀樹 さん



世界各地でコンサートを行い、中国をはじめ海外のミュージシャンとの共演や創作活動を通じて、音を通じた国際交流でめざましい活躍と寄与をされている東儀秀樹さん。2009年に新しい日本の未来づくりに向けて未来遺産運動が発足して以来、未来遺産委員として応援してきてくださっています。2010年9月、東儀さんは社団法人日本ユネスコ協会連盟スペシャルアドバイザーに御就任。日本各地の伝統と自然の素晴らしさをみなさんとともに発見し、未来遺産運動を広めていきます。

～コメント～

「こんにちは。スペシャルアドバイザーの東儀秀樹です。私は日本ユネスコ協会連盟が推進する未来遺産運動を応援しています。

私も伝統的な日本文化の代表である「雅楽」を担う雅楽師として、素晴らしい日本文化を多くの人に伝え後世に引きつぐことに、大きなやりがいを感じながら挑戦し続けています。ですから、日本を守り、伝える、という気持ちがとても共感できるのです。

さまざまな地域でそれぞれの文化が生き継いで、それが互いに影響し合い大きく日本の文化を支えています。日本文化や自然を大切に未来へ引き継いでいきたいというみなさんの熱い思いを、未来遺産運動を通じてぜひとも盛り上げましょう。そして地域でがんばっておられる方々に様々な形でつなげ、100年後の子どもたちに日本を残していきたいと思えます。

みなさんの「伝えたい」という「心」が大きな誇りとなって、永遠に継がれていくことに想いをはせます。私はこの未来遺産運動のために貢献してまいります。」